

5 盛議第 14 号

令和5年6月2日

議 員 各 位

盛岡市議会議長 竹 田 浩 久

請願の措置状況報告について

このことについて、令和5年3月定例会において採択した次の請願の措置状況報告が、別添のとおりありましたのでお知らせいたします。

記

1 請 願 名

- (1) マスク社会が与える子どもたちへの影響について情報の周知徹底を求める請願

5 盛財第 34 号

令和 5 年 6 月 2 日

盛岡市議会議長 竹 田 浩 久 様

盛岡市長 谷 藤 裕 明

請願の処理結果について（報告）

令和 5 年 3 月盛岡市議会定例会において採択された次の請願について、その処理結果を別紙のとおり報告します。

記

1 請願名

マスク社会が与える子どもたちへの影響について情報の周知徹底を求める請願

（担当：保健福祉部）

2 請願者：子どもの未来をつなぐ会 代表 伊藤 倫子

請願名：マスク社会が与える子どもたちへの影響について情報の周知徹底を求める請願

請 願 事 項	左 に 対 す る 措 置 状 況
<p>趣旨 マスク社会が子どもたちに与える影響について、情報の周知徹底をお願いします。</p> <p>1 盛岡市民に対して、新型コロナウイルス感染症の特性を明示し、現時点でありふれた身近なウイルスであるという趣旨の情報の周知をすること。</p> <p>2 発達段階の子どもたちにとってマスク社会が与えるメリットとデメリットが理解できるような情報の周知をすること。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症については、医療体制が確立され、またウイルス自体も今までの株よりも病原性が低いオミクロン株に置き換わったことなどにより、致死率は大きく減り、実態としては「ありふれた身近なウイルス」となっている事などから、令和5年5月8日からは感染症法上の5類感染症に位置付けられて、行政が様々な要請や関与をしていく仕組みから、個人の選択を尊重することを基本となったことから、「広報もりおか」や市公式ホームページにおいて周知を図っております。</p> <p>ただし、ウイルスの特性として、少なくとも50歳代以下の致死率は季節性インフルエンザと比較可能な程度となっておりますが、高齢者にとっては依然として季節性インフルエンザよりは致死率が高い感染症であること、引き続き高齢者等施設や医療機関にとっては丁寧な対応が必要であること、今後も変異株については予測が難しいことなどから、今後も感染予防は大切であると存じております。</p> <p>今後におきましても、国から発出される通知等の状況を注視し、情報の周知を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健所企画総務課)</p> <p>長引くコロナ禍におけるマスク着用が、子供たちにとって身体的にも情緒的にも健全な成長を妨げる懸念があることは存じており、一方で、令和5年3月13日からはマスク着用が個人の判断に委ねられており、場面に応じたマスク着用は感染対策の上でメリットがあることから、マスク着用の効果的な場面について「広報もりおか」や市公式ホームページにおいて周知を図っております。</p> <p style="text-align: right;">(保健所企画総務課)</p>

請願名：マスク社会が与える子どもたちへの影響について情報の周知徹底を求める請願

請 願 事 項	左 に 対 す る 措 置 状 況
<p>3 マスク社会に対して問題意識を持ち盛岡市民一体となって解決に向かう道しるべとなるような啓発をすること。</p>	<p>令和5年3月13日からはマスク着用が個人の判断に委ねられておりますが、新型コロナウイルス感染症が5類に変更後も、自身や身近な方々を感染症から守るために、場面に応じたマスク着用などの基本的感染対策は引き続き有効であることから、「広報もりおか」や市公式ホームページにおいて基本的感染対策について周知啓発を図っているところであり、今後とも、国で示す情報やチラシ等を活用し、周知啓発を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健所企画総務課)</p>
<p>4 上記3点について、盛岡市広報誌や盛岡市ホームページへの継続した掲載と、盛岡市からすべての学校や幼稚園などの教育機関に対して周知をすること。</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の感染対策については、個人の判断に委ねることが基本となっておりますことから、今後におきましても、国から発出される通知等の状況を注視し、情報の周知を図ってまいります。</p> <p style="text-align: right;">(保健所企画総務課)</p>